

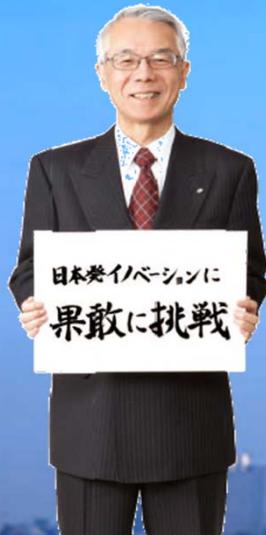


JST 理事長 記者説明会

平成25年11月20日

独立行政法人 科学技術振興機構

本資料に掲載されている記事・写真・図表などの無断転載を禁じます。



私たちは、創造的な基礎研究(トップサイエンス)から
トップイノベーションを創出し、未来社会の課題を解決
するとともに、わが国の産業競争力の強化を図ります。

科学技術振興機構 理事長
中村道浩

① 科学技術イノベーション創出のための研究開発戦略を提案します

科学技術イノベーションの創出に向けて重点的に推進すべき研究開発領域や科学技術システムの改革などに関する研究開発戦略を提案します。

② バーチャル・ネットワーク型研究所経営により成果を最大化します

環境・エネルギー、健康、社会インフラなどの重要課題や、ナノテク・材料、ICTなどの共通基盤技術に関して、国内外のリソースを結集した最強の研究開発チームを組織し、戦略的な研究開発を通じて社会的・経済的価値を創造します。

③ 東日本大震災からの復興・再生に貢献します

科学技術イノベーションを通じて、東日本大震災の被災地における新たなまちづくりや産業復興を支援し、地域の復興・再生に貢献します。

④ 科学技術外交を推進します

科学技術と外交の相乗効果を発揮し、環境・エネルギー、健康、防災等の地球規模課題の解決に貢献します。

⑤ 大学発の知的財産を活用し、わが国の競争力強化を図ります

全国の大学等に散逸する知的財産を集約して国際的に交渉力の強い特許群を形成し、わが国の産業競争力の強化を図ります。

⑥ 科学技術情報をイノベーション創出のための基盤として確立します

科学技術情報を、新たな知識の抽出・活用による研究開発力の飛躍的向上や政策立案、経営戦略策定における意思決定に資する基盤とします。

⑦ 次世代の理数系リーダーの人材を育成します

優れた素質を持つ小学生～高校生に対し、その才能を伸ばすことにより、次世代の理数系国際リーダーを育成し、持続的なイノベーション創出の礎をつくります。

⑧ 科学技術が社会に理解され、信頼されるために活動します

科学技術が社会に正しく理解され受け入れられるために、科学技術に関する社会との対話を促進します。また、研究開発コミュニティにおける研究倫理意識を高め、科学技術に対する信頼性の回復に努めます。

⑨ イノベーションの共創場の構築のための触媒役を果たします

府省連携や産学官金連携を実践し、さまざまな関係者の参加を得て、イノベーションの創生に向けた共創の場を実現するための触媒役を果たします。

⑩ 研究開発システム改革に取り組み、研究開発制度を継続的に進化させます

研究の国際化や研究支援人材の活用、男女共同参画など研究開発システム改革に取り組み、PDCA サイクルを実践して、研究開発力の向上に努めます。

世界の低炭素社会に向けた取組に貢献する先端的技術を創出

温室効果ガスの削減を中長期にわたって継続的かつ着実に進めていくため、新たな科学的・技術的知見に基づいて温室効果ガス削減に大きな可能性を有する技術の研究開発を競争的環境下で推進し、グリーン・イノベーションの創出につながる研究開発成果を得る。

既存の概念を大転換(ゲームチェンジ)するような『ゲームチェンジング・テクノロジー』の創出

現時点では未知の新たな科学的原理・技術的概念を引き出し、発展させ、ブレークスルーの実現を目指す

特徴

- 挑戦的な研究開発
- 異分野研究、人材の融合
- 基礎的な研究から開発段階までの総合的な研究開発
- 最長10年間の長期間の研究開発
- 長期的な展望に向けた具体的な課題を解決
- ステージゲートの導入
- 新しい研究開発課題の積極的な追加採択
- 積極的に成果の発展を促進

研究期間・研究費

- ◆研究期間 : 最長10年間(当初は2~5年間)
(1~3年毎に厳しいステージゲート評価を実施)
- ◆研究開発費 : 3千万円/年程度

設定技術領域

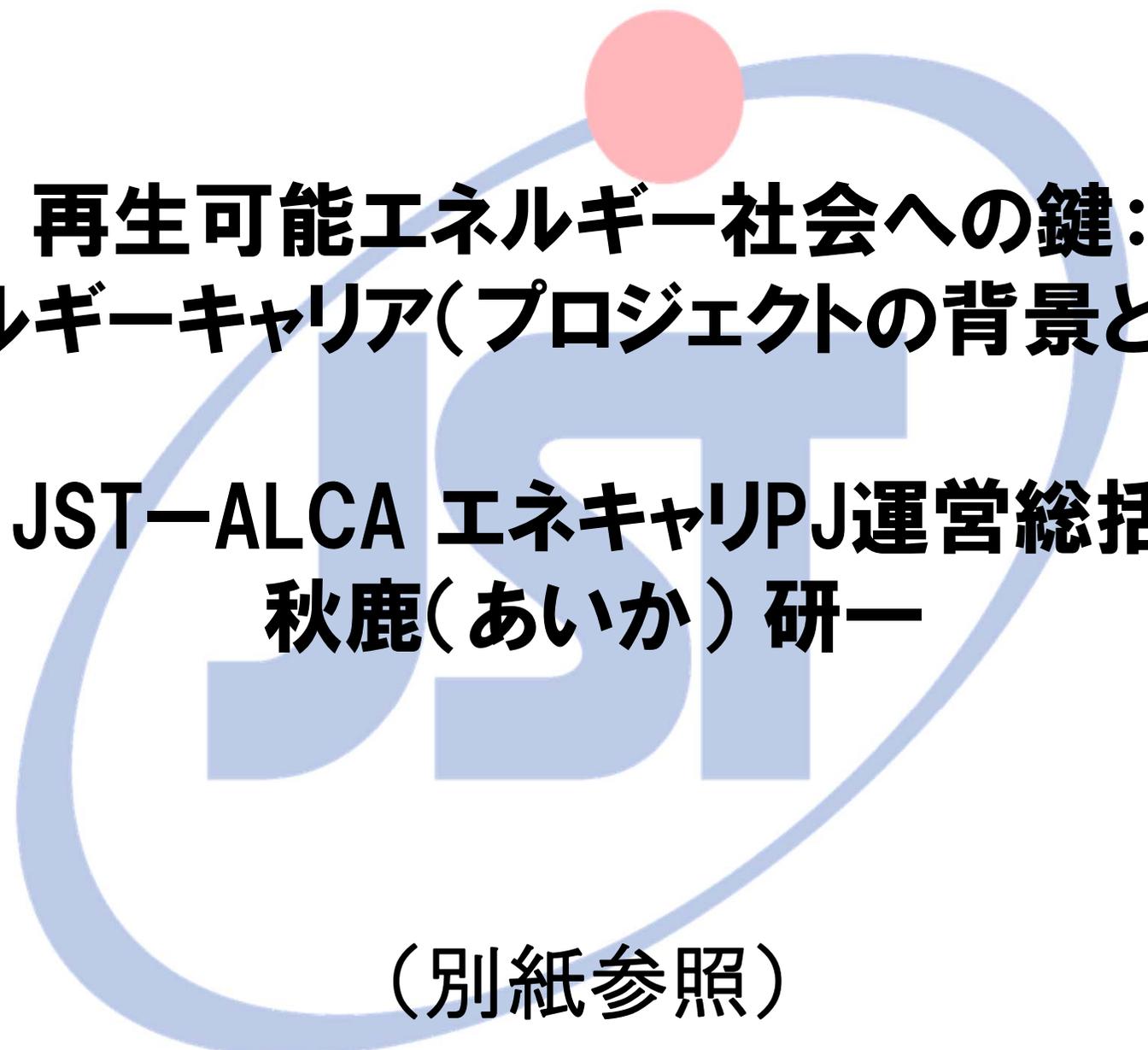


平成25年度予定額 : 7,345百万円
(平成24年度予算額 : 4,750百万円)

ALCA 運営体制

課題の選考、評価、研究開発の進捗状況の把握・調査を通して、積極的なマネジメントを実施



The background features a large, light blue watermark of the JST logo, which consists of the letters 'JST' in a stylized font, with a red circle above the 'S'.

**再生可能エネルギー社会への鍵：
エネルギーキャリア(プロジェクトの背景と内容)**

**JST-ALCA エネキャリアPJ運営総括
秋鹿(あいか) 研一**

(別紙参照)

エネルギーキャリアプロジェクトにおける アンモニア利用燃料電池の開発

京都大学 工学研究科
江口 浩一
(JST-ALCA 研究代表者)

(別紙参照)

第1回科学の甲子園ジュニア全国大会

記者説明会の開催

日時 12月3日(火)午後2時～3時

場所 霞山会館 Room9-10 (霞ヶ関コモンゲート37階)

- 概要
- ・47都道府県代表チームの紹介
 - ・大会のスケジュール紹介
 - ・実技競技のデモンストレーション
 - ・代表に選ばれた生徒が語る 大会参加に向けた抱負
 - ・協賛企業からの大会への期待 など

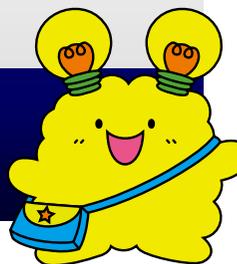
【科学の甲子園ジュニア】について

中学生が、科学や数学等の競技にチームで取組むことで、科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場として今年度から創設

第1回全国大会

日時 12月21日～22日

場所 国立オリンピック記念青少年総合センター



科学の甲子園ジュニア (参考HP⇒<http://rikai.jst.go.jp/koushien-Jr/>)